

『ほぼ紙トイレ』体験説明会

2020年10月25日（日）

於 港北ニュータウンけやきが丘住宅



～カワハラメモ～

港北ニュータウンけやきが丘住宅 総戸数：440戸
管理会社：港北ニュータウンけやきが丘住宅団地管理組合法人

港北ニュータウンけやきが丘住宅（以下：けやきが丘住宅）は、各戸へ携帯トイレの支給を完了後さらにマンホールトイレの設置を検討する中で「ほぼ紙トイレ」の存在を知ったとのこと。そして比較検討の結果、選ばれたのは「ほぼ紙トイレ」でした。下水道が破損すると使用できないというマンホールトイレの課題を「ほぼ紙トイレ」が解決していることが特に評価されました。



「ほぼ紙トイレ」を体験した方々の“特長評価ベスト3”（アンケート集計59名）

- ①水道、下水道、電気等のインフラ設備がない状況で使用できる
- ②工具なしで組立が簡単にできる
- ③紙製なのに耐水・耐風加工されていて屋外に設置できる



体験説明会当日、管理組合から指定された「ほぼ紙トイレ」の展示場所は公道に接する敷地の一角、けやきが丘住宅の居住者はもちろん周辺住民の方々も行き交う場所でした。この機会に多くの人に「ほぼ紙トイレ」の存在を知ってもらいましょう！という管理組合のご好意とアイデアにより、おかげさまで多くの居住者と周辺住民の方々に「ほぼ紙トイレ」を体験して頂くことができました。

けやきが丘住宅は日ごろから周辺地域との関係を重視しており連帯感が強いそうです。災害時も地域単位での協力が必要となることが多々あります。きっと日ごろの良好な関係が活かされることでしょう。

会場準備、組立、展示、そしてアンケート協力、けやきが丘住宅の皆様の和気あいあいとした中に絆の強さを感じました。

けやきが丘住宅が良好な住環境を維持しているのは、居住者の皆様に自助・共助の意識が根付いておりその居住者で構成された管理組合がコミュニケーション能力と行動力を持ち合わせて計画的な設備投資を行っているからだと思いました。

